

# 令和3年 第5回金沢市教育委員会定例会議

- 1 日 時：令和3年5月26日（水） 13時30分～15時00分（予定）
- 2 場 所：金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室
- 3 審議等

頁

報告第10号	金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果（令和2年度分）について （学校職員課）・・・	1
報告第11号	金沢市立学校児童の交通事故について （学校指導課）・・・	6
報告第12号	新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況および 「まん延防止等重点措置」の適用と「石川緊急事態宣言」の期間延長を 踏まえた金沢市立学校の対応について （学校指導課）・・・	8
報告第13号	「金沢市家庭教育推進懇話会」の設置について （生涯学習課）・・・	11
報告第14号	生涯学習団体バス利用助成制度の受付開始について （生涯学習課）・・・	13
報告第15号	「宇宙産業シンポジウム実行委員会」の設置について （生涯学習課）・・・	15
報告第16号	令和2年度 教育相談事業について （学校教育センター）・・・	17
その他		
（1）「ジュニアかなざわオンライン検定」の実施について		
（2）次回の定例会議の日程について		

金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果  
(令和2年度分) について

令和3年5月26日 提出

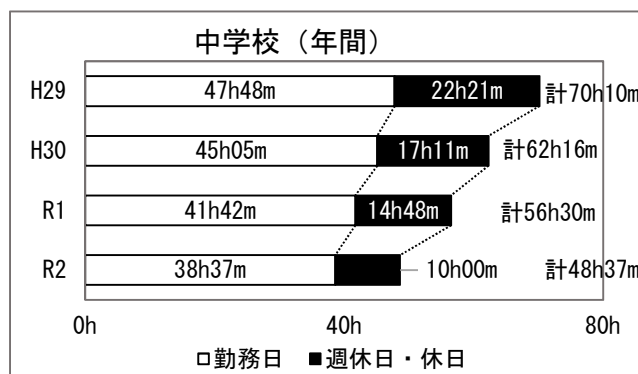
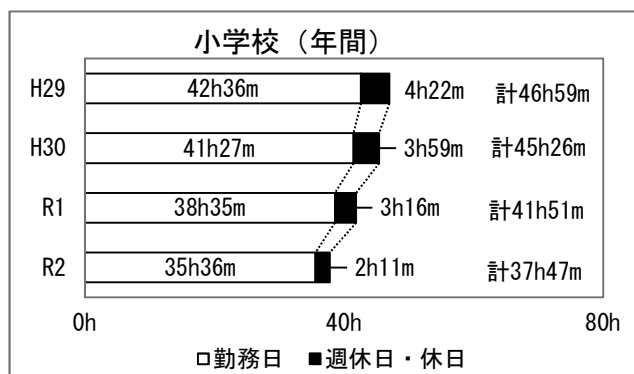
金沢市教育委員会  
教育長 野口 弘

## 金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果 (令和2年度分) について

- 1 対象者数 (再任用拠点校指導教員、短時間再任用教諭、短時間非常勤講師は除く)  
 小学校 53校 1,321名、中学校 24校 722名 計 2,043名  
 ※令和2年4月30日調査時点の人数
- 2 対象職種  
 校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、栄養職員、  
 事務職員、講師
- 3 時間外勤務時間の平均 ( ) 内は前年度同時期

	区分	1か月あたりの平均		内			
				勤務日	週休日・休日		
小学校	4～6月	32h26m	(52h57m)	30h31m	(48h30m)	1h55m	(4h27m)
	7～9月	32h06m	(32h06m)	29h58m	(29h23m)	2h08m	(2h43m)
	10～12月	46h20m	(47h27m)	43h44m	(43h52m)	2h36m	(3h35m)
	1～3月	40h18m	(34h55m)	38h15m	(32h37m)	2h03m	(2h18m)
	R2年度	37h47m	(41h51m)	35h36m	(38h35m)	2h11m	(3h16m)
中学校	4～6月	35h21m	(74h38m)	30h57m	(53h38m)	4h24m	(21h00m)
	7～9月	48h45m	(47h37m)	35h23m	(33h23m)	13h22m	(14h14m)
	10～12月	59h57m	(61h35m)	48h17m	(46h48m)	11h40m	(14h47m)
	1～3月	50h26m	(42h09m)	39h51m	(32h57m)	10h35m	(9h12m)
	R2年度	48h37m	(56h30m)	38h37m	(41h42m)	10h00m	(14h48m)

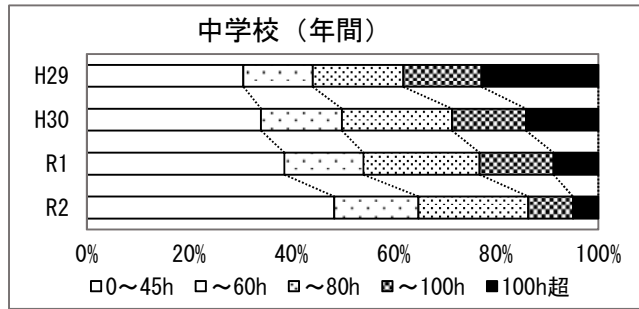
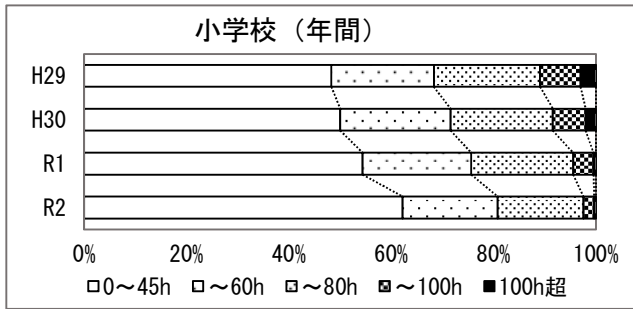
※R元年度3月、R2年度4、5月は臨時休業期間がある。



- 令和2年度の時間外勤務時間の平均は昨年度と比較して、小学校は4時間4分(△9.7%)、中学校は7時間53分(△13.9%)減っており、平成29年度から減少傾向にある。
- 令和2年度の「週休日・休日」の時間外勤務時間は昨年度と比較して、小学校で1時間5分(△33.1%)、中学校で4時間48分(△32.4%)と減少しているものの、依然として、小学校と中学校の差が大きく、中学校が小学校より7h49m多くなっている。

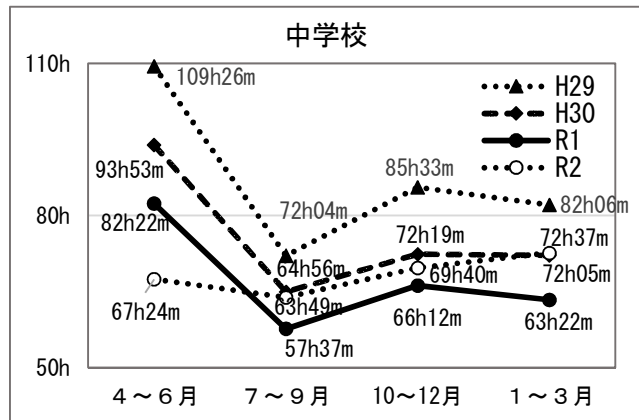
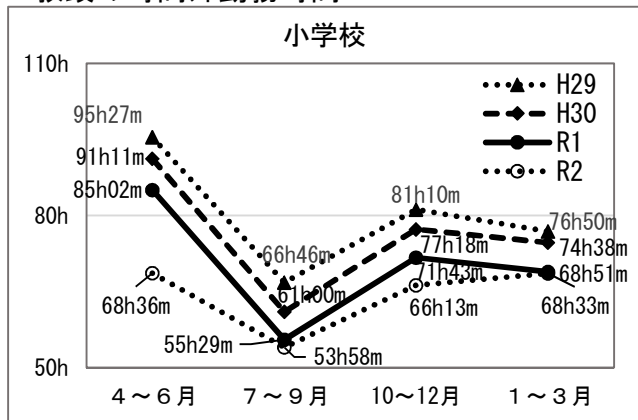
4 時間外勤務時間の分布 ( )内は前年度の割合 単位 %

	区分	0～45h	～60h	～80h	～100h	100h超
小学校	4～6月	73.0 (36.8)	11.2 (24.4)	12.2 (29.7)	3.0 (8.0)	0.6 (1.1)
	7～9月	67.5 (65.7)	16.5 (17.8)	14.2 (14.3)	1.6 (2.1)	0.2 (0.1)
	10～12月	47.9 (46.4)	24.1 (24.5)	25.2 (24.3)	2.5 (4.4)	0.3 (0.4)
	1～3月	60.6 (69.2)	22.4 (17.9)	15.3 (11.2)	1.4 (1.4)	0.3 (0.3)
	R2年度	62.3 (54.4)	18.6 (21.2)	16.7 (19.9)	2.1 (4.0)	0.3 (0.5)
中学校	4～6月	69.3 (19.8)	8.4 (13.3)	12.3 (26.0)	6.4 (22.3)	3.6 (18.6)
	7～9月	50.9 (50.3)	12.2 (12.1)	19.6 (19.4)	10.8 (12.4)	6.5 (5.8)
	10～12月	29.7 (28.7)	22.3 (20.4)	29.5 (26.0)	11.6 (16.7)	6.9 (8.2)
	1～3月	43.7 (56.0)	23.0 (16.1)	24.3 (19.1)	6.1 (6.6)	2.9 (2.2)
	R2年度	48.4 (38.6)	16.5 (15.5)	21.4 (22.7)	8.7 (14.5)	5.0 (8.7)



○令和2年度の時間外勤務時間が1か月80時間を超える者の割合は、小学校で2.4% (昨年度比△2.1ポイント)、中学校で13.7% (同9.5ポイント)となっており、平成29年度から減少傾向にある。

5 教頭の時間外勤務時間



○教頭の時間外勤務時間の平均は、小中学校ともに平成29年度から減少傾向にあった。令和2年度は、4～6月は減少したが、7～9月は小学校は昨年度から、1時間31分減少したが、中学校では6時間12分増加した。中学校ではその後も増加している。

## 6 令和2年度の職種別・年齢別の集計

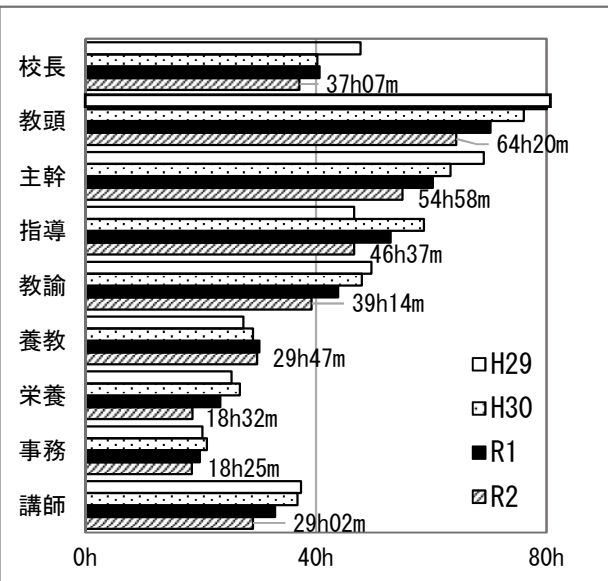
表の項目について

- 令和2年度の平均・・・1か月あたりの時間外勤務時間の平均
- 80～100h・・・1か月あたりの時間外勤務時間の平均が80～100時間の人数の割合
- 100h超・・・1か月あたりの時間外勤務時間の平均が100時間を超えた人数の割合
- 対象人数・・・令和2年4月30日調査時点の人数

### (1) 職種別

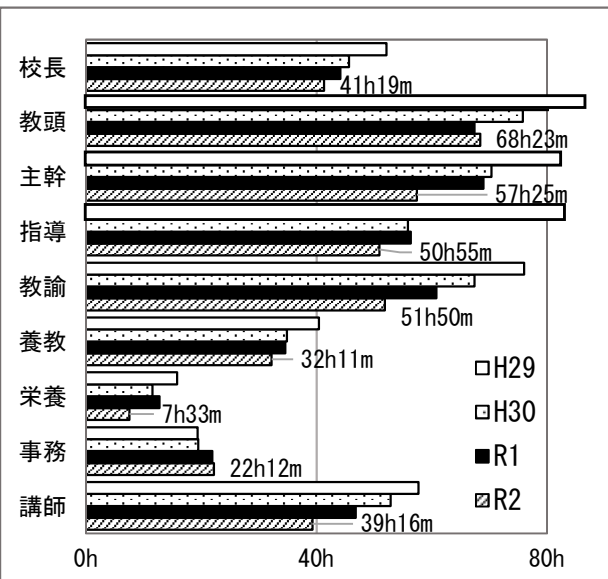
#### ①小学校 ( ) 内は前年度比

職種	令和2年度の平均	80～100h	100h超	対象人数
校長	37h07m (△8.6%)	0.2%	0.0%	50
教頭	64h20m (△8.4%)	9.7%	3.3%	55
主幹教諭	54h58m (△8.8%)	5.6%	0.6%	15
指導教諭	46h37m (△11.9%)	0.0%	0.0%	4
教諭	39h14m (△10.5%)	2.1%	0.2%	931
養護教諭	29h47m (△1.3%)	1.1%	0.0%	53
栄養教諭等	18h32m (△20.8%)	0.0%	0.0%	20
事務職員	18h25m (△7.0%)	0.2%	0.2%	53
講師	29h02m (△11.6%)	0.7%	0.1%	140
総計	37h47m (△9.7%)	2.1%	0.3%	1,321



#### ②中学校 ( ) 内は前年度比

職種	令和2年度の平均	80～100h	100h超	対象人数
校長	41h19m (△6.4%)	1.4%	1.0%	24
教頭	68h23m (+1.5%)	14.3%	6.7%	25
主幹教諭	57h25m (△16.8%)	8.3%	1.3%	13
指導教諭	50h55m (△9.7%)	16.7%	0.0%	3
教諭	51h50m (△14.7%)	10.2%	6.2%	519
養護教諭	32h11m (△6.9%)	2.0%	0.3%	25
栄養教諭等	7h33m (△40.9%)	0.0%	0.0%	5
事務職員	22h12m (+1.3%)	1.2%	0.6%	28
講師	39h16m (△16.0%)	4.8%	1.8%	80
総計	48h37m (△13.9%)	8.7%	5.0%	722



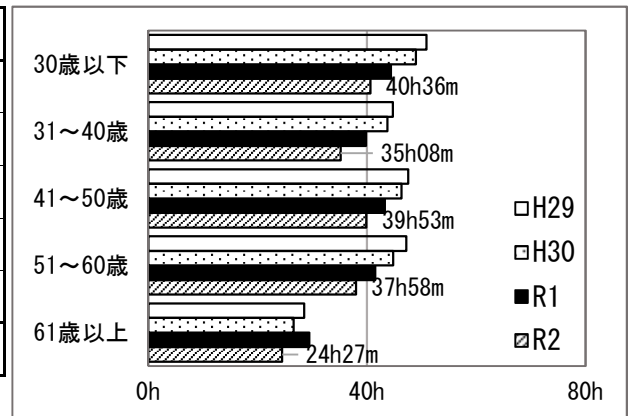
○小学校では、前年度と比較して、全ての職種で時間外勤務時間が減っている。

○中学校では、前年度と比較して、教頭(+1.5%)、事務職員(+1.3%)の時間外勤務時間が増えているが、その他の職種では時間外勤務時間が減っている。

(2) 年齢別

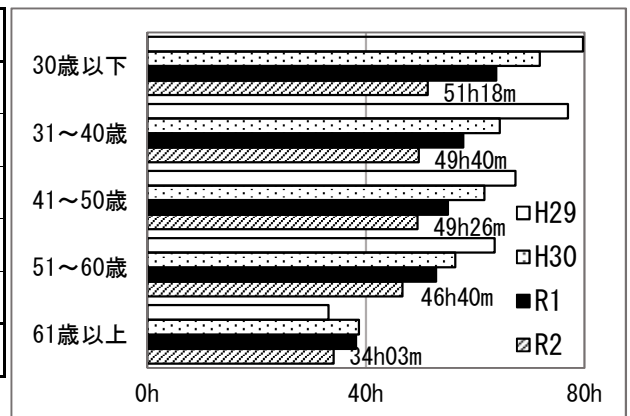
①小学校 ( ) 内は前年度比

年齢	令和2年度の平均	80~100h	100h超	対象人数
30歳以下	40h36m (△8.5%)	2.6%	0.3%	321
31~40歳	35h08m (△11.7%)	2.1%	0.2%	350
41~50歳	39h53m (△7.8%)	2.3%	0.5%	264
51~60歳	37h58m (△8.5%)	1.8%	0.4%	343
61歳以上	24h27m (△16.8%)	0.2%	0.0%	43
総計	37h47m (△9.7%)	2.1%	0.3%	1,321



②中学校 ( ) 内は前年度比

年齢	令和2年度の平均	80~100h	100h超	対象人数
30歳以下	51h18m (△19.6%)	11.1%	7.2%	187
31~40歳	49h40m (△14.1%)	8.8%	5.5%	157
41~50歳	49h26m (△10.1%)	9.4%	5.4%	134
51~60歳	46h40m (△11.6%)	7.1%	3.0%	220
61歳以上	34h03m (△10.7%)	0.7%	0.0%	24
総計	48h37m (△13.9%)	8.7%	5.0%	722



- 時間外勤務時間は、小中学校ともに30歳以下の教職員(小40h36m、中51h18m)が最も多くなっている。
- 前年度と比較して、小中学校全ての年代で時間外勤務時間が減っている。
- 小学校では、61歳以上の教職員を除いて、年代による差は比較的小さい。中学校では平成29年度から、年代が若くなるほど時間外勤務時間が多くなる傾向だったが、その差は緩やかになってきている。

7 令和2年度の総括と今後の課題

令和2年度は、コロナ禍や、これを起因とする学校臨時休業など、例年にはない社会情勢の大きな変化があった。

前年度と比較して、総じて時間外勤務時間は減少したが、職種別では中学校の教頭、事務職員が増加した。

今年度は、統合型校務支援システムの稼働や、学校給食費の公会計化先行実施等を実現し、更なる教職員の負担軽減と、時間外勤務時間の削減に努めていく。

金沢市立学校児童の交通事故について

令和3年5月26日 提出

金沢市教育委員会  
教育長 野口 弘

## 金沢市立学校児童の交通事故について

### 1 事故の概要

- ・ 4月28日(水) 15時35分頃、下校途中であった田上小3年児童(男児)が田上本町北交差点の横断歩道上を横断中、右折してきた乗用車と接触した。その後、金沢大学附属病院に救急搬送されたが、16時35分頃、搬送先病院で死亡が確認された。
- ・ 5月6日(木) 7時15分頃、登校途中であった戸板小3年児童(女児)が示野中町2丁目の市道で乗用車と接触し、金沢大学附属病院に救急搬送されたが、現在、退院し自宅療養中である。

### 2 各学校の対応

#### (1) 田上小学校

- ・ 校長及び各学級担任による指導 (4月30日)
- ・ 登校時、通学路のポイントにて教職員の安全見守り(4月30日、5月6日、7日)
- ・ 下校時、教職員の引率のもと集団下校の実施 (4月30日、5月6日、7日)
- ・ 街頭交通推進隊や保護者と連携した安全見守り (4月30日以降しばらく継続)

#### (2) 戸板小学校

- ・ 下校時、通学路において教員が街頭指導 (5月6日)
- ・ 朝、全校集会を開き、交通安全について指導 (5月7日)

### 3 市教委の対応

#### (1) 各学校への交通安全指導の徹底を通知

- ・ 「児童生徒の交通事故防止について(通知)」 4月30日付
- ・ 「登下校時等における児童生徒の安全確保について(通知)」 5月6日付
- ・ 「児童生徒等に対する交通事故防止指導の徹底について(通知)」 5月7日付

#### (2) 田上小学校児童の心のケア対応

- ・ 教育プラザの心理師2名、スクールカウンセラー1名を派遣 (4月30日)
- ・ 指導主事による登下校時の通学路における見守り (4月30日)

#### (3) 警察、道路管理者、教育委員会、地元町連等による合同の通学路安全確認調査

- ・ 5月6日(木)の午前中に実施 (田上小)
- ・ 5月13日(木)の午前中に実施 (戸板小)

#### (4) 定例市教委・校長会議 (5月6日開催) において登下校時等の安全確保を確認

- ・ 「登下校時等における児童生徒の安全確保について(通知)」 (再掲)



新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況および  
「まん延防止等重点措置」の適用と「石川緊急事態宣言」の期間延長を  
踏まえた金沢市立学校の対応について

令和3年5月26日 提出

金沢市教育委員会  
教育長 野口 弘

新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況および  
「まん延防止等重点措置」の適用と「石川緊急事態宣言」の期間延長を  
踏まえた金沢市立学校の対応について

1 児童生徒の発生状況（令和2年度）

令和2年度末までの期間において、金沢市立学校で新型コロナウイルス感染症の陽性となった児童・生徒数は次のとおりである。

	児童・生徒数
小学校（学校名を公表したもの）	8人
中学校（学校名を公表したもの）	4人
学校名公表せず	4人
計	16人

2 金沢市立学校の対応について（令和3年5月15日時点）

5月14日、本市を対象に「まん延防止等重点措置」が適用されたことに伴い、5月9日に発出された「石川緊急事態宣言」による対応を、引き続き6月13日まで期間を延長する。

（1）学校における通常授業の継続に向けて

児童生徒の学びを保障するため、文部科学省発出のマニュアルによる対応を基本とし、以下の活動は行わない。

① 各教科等に共通する活動として

- ・児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク
- ・近距離で一斉に大きな声で話す活動 などは行わない。

② 水泳の授業（プール清掃等を含む）は、6月13日（日）まで行わない。

## (2) 校外の学習活動について

6月13日(日)までの期間、泊を伴う学校行事、遠足・社会見学・運動会等については、期間外に延期、もしくは中止とする。

## (3) 部活動について

次の点を遵守しながら行う。

- ・6月13日(日)までは他校との練習試合、合同練習等を行わない。
- ・活動場所を学校内等、日頃活動している場所に限定し、活動内容は精選。平日は1時間程度の活動にとどめ、休日は必要最低限の内容で2時間程度とする。
- ・なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空ける。
- ・部活動前や終了後等、生徒同士で食事をすることは控える。

## (4) 中体連春季大会について

5月13日(木)～16日(日)までの大会を延期とし、今後、日程等を調整する。

## (5) その他の教育活動について

- ・各学校及び地域の実情に応じ、慎重に検討・判断する。実施する場合は、感染症対策を徹底する。
- ・6月13日(日)までに予定している保護者及び地域の方々等の参観や来校する学校行事や学習活動については、児童生徒のみで実施、期間外に延期、もしくは中止とする。

## (6) 「全市一斉学校公開週間」、「小中一貫教育週間」について

- ・6月7日(月)～6月13日(日)に予定の「全市一斉学校公開週間」は中止する。
- ・代替措置として、同期間中、学校HPやICT、学校便り等を活用して情報発信する。
- ・5月31日(月)～6月4日(金)に予定の「小中一貫教育週間」は書面やオンライン会議等を活用等により実施する。

## (7) 臨時休業となった際の学習保障について

休業期間の長短によらず、学年・教科等に応じたオンラインを用いた支援に努め、1人1台端末を用いた授業や動画の配信、チャット機能を用いた質問対応に取り組む。

## (8) 教職員の勤務

感染拡大のリスク低減に向け、校内における執務場所では密を避けるとともに、原則、午後7時までの勤務とする。

「金沢市家庭教育推進懇話会」の設置について

令和3年5月26日 提出

金沢市教育委員会  
教育長 野口 弘

## 「金沢市家庭教育推進懇話会」の設置について

### 1 設置の趣旨

本市における家庭教育に関する指針に基づき、家庭教育の推進を図る具体的施策を体系化した「金沢市家庭教育推進プログラム」が、令和3年度末で期間が満了することから、これまでの事業を検証するとともに、家庭や地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、社会全体で家庭教育を推進するための施策等を検討する懇話会を設置する。

### 2 委員（9名）

（敬称略・順不同）

氏名	所属団体・役職名	備考
桑村 佐和子	金沢美術工芸大学 教授	学識経験
三谷 靖子	金城大学社会福祉学部子ども福祉学科 准教授	学識経験
山岸 朋子	金沢市立浅野川小学校 校長	学校教育
村上 賢正	金沢市立高岡中学校 校長	学校教育
宮崎 恭子	金沢市児童館児童厚生員会 会長	児童健全育成
相羽 大輔	金沢市PTA協議会 会長	PTA(小)
渡辺 恵	金沢市PTA協議会 副会長	PTA(中)
源 恭子	石川県私立幼稚園協会金沢支部 支部長	幼児教育
水島 栄美子	NPO 法人子育て支援はぐはぐそのままいいよ 理事長	子育て

### 3 今後の予定

- ・懇話会は6月、10月、1月の年3回開催。
- ・保護者を対象に、家庭教育に関する意識調査を7～8月に実施。
- ・懇話会からの提言を踏まえ、令和4年3月に次期家庭教育推進プログラムを策定。

生涯学習団体バス利用助成制度の受付開始について

令和3年5月26日 提出

金沢市教育委員会  
教育長 野口 弘

## 生涯学習団体バス利用助成制度の受付開始について

老朽化等により、現在運行している生涯学習バス（以下、マナビー号）の運行を終了するとともに、バス利用にかかる経費を助成する「生涯学習団体バス利用助成制度」を設け、9月からの実施に向けて受付を開始する。

### 1 利用開始時期

令和3年9月から（令和3年6月1日受付開始）  
（令和3年8月末まではマナビー号を運行）

### 2 利用対象者

- ・地区公民館、地区婦人会
  - ・高砂大学校同窓会・同窓会員による自主グループ
  - ・その他の社会教育・生涯学習関係団体 など
- ※1団体につき年2回利用可

### 3 利用上の変更点

#### ① 運行方法

- ・各利用団体が民間バス借上を手配し利用

#### ② 利用条件の緩和

- ・利用時間、運行距離等の制限を撤廃

#### ③ 利用者負担

- ・バス利用料金の一部を助成（マナビー号は無料）

### 4 助成額（バス1台当たり）

#### ① 借上料45,000円以下の場合

借上料－5,000円

#### ② 借上料45,000円を超える場合

40,000円＋45,000円超過額の1／2

※千円未満切り捨て、上限7万円

（参考）マナビー号（寄贈）について

平成15年9月登録 走行距離302,447Km（令和2年度末現在）

「宇宙産業シンポジウム実行委員会」の設置について

令和3年5月26日 提出

金沢市教育委員会  
教育長 野口 弘



# 「宇宙産業シンポジウム実行委員会」の設置について

## 1 設置の趣旨

金沢市宇宙教育推進計画2021に基づき、「宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成」や「広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり」の2つのテーマの実現に向けて、宇宙産業における産学官の各分野で活躍している大学や企業等を招聘し、シンポジウムを開催するため、その内容や運営について検討する実行委員会を設置する。

## 2 委員（6名）

（敬称略・順不同）

氏名	所属団体・役職名
八木谷 聡	金沢大学理工学域教授（金沢市宇宙教育推進懇話会委員）
鶴山 雄一	金沢青年会議所前理事長（金沢市宇宙教育推進懇話会委員）
高 穂栞	金沢青年会議所副理事長（金沢市宇宙教育推進懇話会委員）
水野 勝正	金沢市立工業高等学校教頭（金沢市宇宙教育推進懇話会委員）
青木 晋	金沢市経済局産業政策課価値創造拠点整備室長
野口 弘	金沢市教育委員会教育長

## 3 今後の予定

第1回実行委員会 令和3年6月頃

第2回実行委員会 同年8月頃

第3回実行委員会 同年11月頃

シンポジウム開催 同年10月3日（日）

令和2年度 教育相談事業について

令和3年5月26日 提出

金沢市教育委員会  
教育長 野口 弘

## 令和2年度 教育相談事業について

### I 教育相談状況

#### 1. 受理件数

(実人数)

区分	未就学	小学生	中学生	高校生	計
令和2年度	104	259	193	21	577
令和元年度	120	301	201	16	638

#### 2. 相談の主訴

(実人数)

区分	発達障害 (疑い含む)	不登校 (傾向含む)	就学・進路	情緒不安定等	発育・発達
令和2年度	227	173	59	33	31
令和元年度	221	173	81	60	39
区分	学業不振	身体・精神	育児・家庭教育	その他	計
令和2年度	29	11	11	3	577
令和元年度	33	15	9	7	638

#### 3. 相談事業種別

##### (1) 面接相談

(のべ件数)

区分	来所	訪問	電話	計
令和2年度	5,211	144	1,358	6,713
令和元年度	4,958	338	1,203	6,499

##### (2) 巡回専門相談

(のべ件数)

区分	学校訪問
令和2年度	74
令和元年度	110

※ 巡回専門相談員が学校へ巡回を行い、教職員等に対し相談・助言

##### (3) 適応指導教室

(実人数)

区分	そだちPersonal ※1			そだちFriendship ※2		
	小学生	中学生	計	小学生	中学生	計
令和2年度	41	81	122	0	6	6
令和元年度	36	79	115	0	6	6

※1 個別支援 相談員と1対1の個別対応が  
※2 集団支援 小集団での活動支援が中心

※ 小中学生の個々の状態に応じ、学習活動や体験活動を通して、対人関係及び社会的自立を支援

##### (4) 専門相談

(実人数)

区分	未就学	小学生	中学生	計
令和2年度	45	27	8	80
令和元年度	43	45	12	100

※ 保護者や教職員が来所し、専門相談員(精神科医、小児科医、言語聴覚士等)に相談

### II 電話相談状況

(のべ件数)

区分	おはなし電話	こども専用フリーダイヤル	いじめ専用ダイヤル	計
令和2年度	1,786	37	47	1,870
令和元年度	1,675	207	53	1,935

※ 家族等が所定の番号に電話をかけて相談(匿名可) 平日:9~21時、土日祝:9~17時

## 「ジュニアかなざわオンライン検定」の実施について

第15回目の実施となる「ジュニアかなざわ検定」については、今年度より、書面形式での実施方法を変更し、1人1台端末（GIGAスクール構想に基づく学習用端末）を活用した「ジュニアかなざわオンライン検定」として実施する。

**1. 目的** 子どもたちが金沢の歴史や文化を知り、その習熟度を高めることで、ふるさとを知る意欲を引き出すとともに、将来的に金沢を発信できる人材の育成につなげる。

**2. 対象** 小学生（4年生～6年生）、中学生

**3. スケジュール** 6月8日 募集開始

8月19日 検定実施

団体受検（各学校におけるオンライン検定）

個人受検（長土塀青少年交流センターにおけるオンライン検定）

10月中旬 表彰式の開催

**4. 出題形式**

- ・ 択一式50問
- ・ 主に「こども金沢市史（改訂2版）」から出題
- ・ 新テーマや旬の金沢に関する話題等からも出題

**5. オンライン方式による効果等**

- ・ 事務作業や採点・集計等の効率化
- ・ 学習用端末を活用したふるさと教育の推進



こども金沢市史(改訂2版)